

# 生徒役員育成マニュアル

---

平成24年6月  
令和3年4月（付則追記）

### Ⅲ 付 則

以下の内容は、新型コロナウイルス感染症に関わる感染対策とした事例を基に保健所等で作成された内容を参考に記載しています。部活動（バレーボール競技）における感染対策の参考としてご活用ください。

バレーボール競技（運動部活動）は、長い時間、息が上がった状態で、比較的近い距離で話すことがあるなど、感染が拡大するリスクがあるものと考えられます。

学校内、部活動内で感染の広がりを防ぐためには、「もちこまない・ひろげない」ことが重要であり、すでに各自治体や学校における感染予防対策が実施されているところではありますが、バレーボール指導者の感染対策の一助として活用いただくと幸いです。

#### 1. 部活動を始める前の対策について

- ・毎朝毎晩の検温・家族内の有症者有無の確認（登校時・会場集合時等）
- ・体調の異変を探知するため、毎朝毎晩の検温に加え、生徒本人及び家族の体調に異変がないか、聞き取りもしくは紙等により個人ごとに記録するなどの対応が必要です。
- ・生徒本人及び家族の体調に少しでも異変がある場合は、保護者等と連絡を取り合い、速やかに帰宅させる。
- ・体調不良を訴えている生徒等がいた場合は、保護者等と連携して速やかに専門機関に相談させる。
- ・発熱した生徒がいた場合、翌日に熱が下がっていても、再度発症する事例があることから、一定期間、部活動への参加は自粛させる。
- ・朝は無症状であったとしても、部活前に再度の検温や体調の聞き取りを行う。体調不良等少しでも異変がある場合は、保護者等と連絡を取り合い、速やかに帰宅させる。
- ・バレーボール競技では、複数名がボール等の用具に触れるため、利用前に手洗いを徹底する。

**体調不良でも無理して活動した結果、**

**チームや部活動全体に感染拡大するケースがあります。**

**少しでも体調に異変がある場合は、他の部員のためにも、**

**休ませましょう！**

#### 2. 部活中の対策について

##### （個人）

- ・汗や唾液が付着している可能性が高いタオルやドリンク（ボトル等）、ビブス等は絶対に共有しない。混同しないためにも、個人ごとに保管できるよう工夫する（個々人の籠やカバンに保管）。
- ・マネージャー等と部員との接触は極力避け、タオルやドリンク等を配布させない。
- ・活動中においても、選手はできる限りマスクを着用することが望ましい。
- ・顧問・マネージャーは常時着用する。
- ・ミーティング等の打ち合わせの際は、全員マスク着用、2 m以上の距離を取る。
- ・休憩中など、できる限り手洗いをを行う。
- ・手で汗をぬぐうときは、目や鼻等粘膜を触らない。

## (施設)

- ・屋内競技においては、空気を滞留させないように常時換気が望ましく、常時換気が難しい場合も30分に一度など、定期的な換気を行う（冬期も同様）。
- ・廊下や教室などを利用して行うトレーニング等は、人数制限をすることで密にならない環境をつくる。例えば、他の部活動やチームと空間的に交わらないよう、時間的並びに空間的に隔離する。時間を分けて同じ空間を利用する場合は、入れ替わる時点で入念な換気等を行う。

## 3. 部活動終了後の対策について

- ・会話をする際は、必ずマスクを着用し、できる限り距離を取る。
- ・掃除用具は、1日単位で使用する人を固定するなど、できるだけ共用しないようにする。使用者が変わるときはモップの柄などは消毒する。
- ・使用したボールや用具の消毒を行う。
- ・練習終了後は手洗いを徹底する。
- ・速やかに下校する。
- ・交通機関を利用する際は、マスクを着用し距離を取り、会話は控える。

## 4. その他

- ・部員に陽性者が出たら、直ちに部活動を休止し、濃厚接触者の特定が終わるまでは活動停止を検討する。
- ・濃厚接触者を特定した後においても、一定期間は部活動を休止し、健康観察を継続することが望ましい。
- ・別の部活でも、陽性者と同時間・同空間で活動した部は、一定期間は部活動を休止することが望ましい。
- ・大会等に参加する生徒で、当日に体調異変があるときは、参加を見送る。
- ・大会等に参加する場合は、主催者や自治体、各学校等が定める留意事項を遵守し、感染対策を徹底する。
- ・「新しい生活様式」を踏まえ、生徒等が感染症について正しく理解し、感染のリスクを避けることが出来るよう徹底した指導を行う。
- ・感染等に関わる差別や偏見、誹謗中傷につながる言葉や行動を許すことなく、思いやりと寄り添う姿勢を持つことの重要性について適切に指導する。
- ・審判や生徒役員として大会や研修会等に参加する場合の判断は、所属する学校や職場、家族の理解を得ることが重要であり、それぞれの意向を尊重した柔軟な対応が望ましい。不参加等により不利益が生じないように、日常的に指導する。

## 感染を広げないために

**続けられる範囲・方法で油断することなく、  
予防することが重要です。**